2020 年 12 月 2 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance
フィリップ証券株式会社

アリスタネットワークス（ANET）

データセンター向けのソフトウエア制御ネットワーク機器で、AI活用に伴う膨大なデータ通信を支える

ニューヨーク｜通信機器｜業績フォロー

BLOOMBERG ANET:US | REUTERS ANET.O

- 2020/12期3Q（7-9月）は、売上高が前年同期比7.5％減、純利益が同19.4％減だったが、前四半期比では12.0％の増収だった。
- 2020/12 期 4Q（10-12 月）の会社計画は、売上高が前年同期比 2 桁台の増収。これを受け、市場で来期も 2 桁台の増収率が期待されている模様。
- 大規模データセンター向けのソフトウエア制御によるネットワーク機器で、AI活用に伴う膨大なデータ通信を支えるインフラ企業として注目される。

What is the news？

11/2発表の2020/12期3Q（7-9月）は、売上高が前年同期比7.5％減の6.05億USD、純利益が同19.4％減の1.68億USD、Non-GAAPの調整後EPSが同10.0％減の2.42USD。サービス部門の業績は堅調だったものの、主力のプロダクト部門で前年同期に大手取引先IT企業が発注を減らしたことの反動による減収だったこと、および利益面で研究開発費の増加（同7.8％）が響いた。その一方、前四半期比では売上高が12.0％増、調整後の粗利率が横ばい（64.6％）。デジタル化を背景に今年9月末までにクラウド・ネットワーキングのポート数が累計4,000万ポイントに達したことを受け、顧客企業やサプライチェーンなどをコロナ禍に対応した新たな業務環境に導く役割がより重要視されるようになったことが前四半期比での増収に寄与した。

セグメント別の業績は以下の通り。①プロダクト部門は、売上高が前年同期比13.5％減の4.80億USD、売上総利益が同16.6％減の2.80億USD、②サービス部門は、売上高が同26.0％増の1.25億USD、売上総利益が同29.5％増の1.04億USDだった。

How do we view this？

2020/12期4Q（10-12月）の会社計画は、売上高が6.15-6.35億USD（前年同期：5.52億USD）、調整後粗利率が63-65％（同：65.2％）、調整後営業利益率がおよそ37％（同：31.9％）。増収率が2桁台に達することから来期に向けて前期比2桁成長を期待させるものとして、発表後に株価が上昇した。

同社は今年10月にネットワーク・セキュリティ企業のアウェイク・セキュリティの買収を完了したほか、同社の主力ソリューションサービスであるCloudVisionに定額課金であるSaaS（Software as a Service）を導入した新サービス「CloudVision as a Service」を大企業向けにローンチするなど、同社プラットフォームの高付加価値化に取り組んでいる。

人工知能（AI）の利用において必要となる大規模データセンター向けネットワーク機器では**シスコシステムズ（CSCO）**や**ジュニパーネットワークス（JNPR）**が先行するなか、クラウドサービスへのシフトの追い風を受けて同社はソフトウエアでネットワーク構築を制御する技術を武器に、低料金でサービスを提供することで先行する大手のシェアを奪いつつある。AI活用における膨大なデータ通信を支えるインフラ企業として、同社サービスへの需要の高まりが見込まれよう。

業績推移　※参考レート　1USD=104.33円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万USD)	1,646	2,151	2,410	2,297	2,615
当期利益(百万USD)	423	328	859	618	688
EPS(USD)	5.35	4.06	10.63	7.75	8.50
PER（倍）	51.03	67.24	25.68	35.23	32.12
BPS(USD)	22.55	28.33	37.89	39.73	47.54
PBR（倍）	12.11	9.64	7.21	6.87	5.74
配当(USD)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り（%）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想(USD)	0.00	（予想はBloomberg）
終値(USD)	273.00	2020/12/1

会社概要

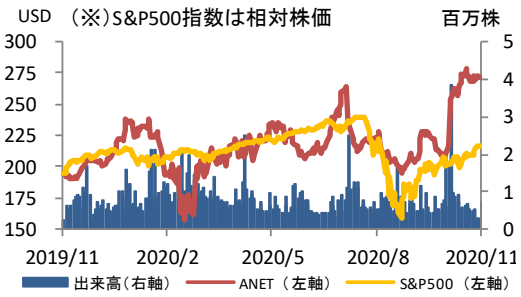
2004年設立のネットワーク機器メーカー。大規模データセンターやキャンパス向けにソフトウェア制御されたクラウドネットワーキング・ソリューションを提供する。同社の顧客はインターネット企業から金融、政府機関、メディア、エンターテインメント企業まで世界中の様々な業界にまたがる。

同社のプラットフォームの中核を成すのがEOS（拡張可能なオペレーティング・システム）である。そして、「CloudVision」は、「アリスタEOS」を基盤としたソフトウエア主導型のアプローチをネットワーク全体に拡張し、プライベート、パブリック、およびハイブリッド・クラウドにわたるネットワーク全体の状態を可視化するプラットフォームサービスである。ネットワーク構築をソフトウエアで制御できることから、ネットワークの構成を変更したり、スケールを上げたりするときに安価で早くでき、機器のつなぎ直しなどの物理的な手間が省けるメリットがある。

同社の売上は、これらに係るプロダクト収入のほか、テクニカルサポート、ハードウエアの修理、部品交換、アップグレードサービスなどのカスタマーサポートに係るサービス収入から構成される。

企業データ（2020/8/3）

ベータ値	1.06
時価総額(百万USD)	20,656
企業価値=EV(百万USD)	17,885
3ヵ月平均売買代金(百万USD)	169.0



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2020/12）　（%）

1.Von Bechtolsheim Andreas	16.64
2.VANGUARD GROUP	7.83
3.ﾌﾞﾗｯｸﾛｯｸ	5.58

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部
笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社　〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人　日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト　笹木和弘
リサーチ部　李　一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則　平 14.1.25」に基づく告知事項＞
・　本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。